

80回生 合格者招集 4月4日（金）



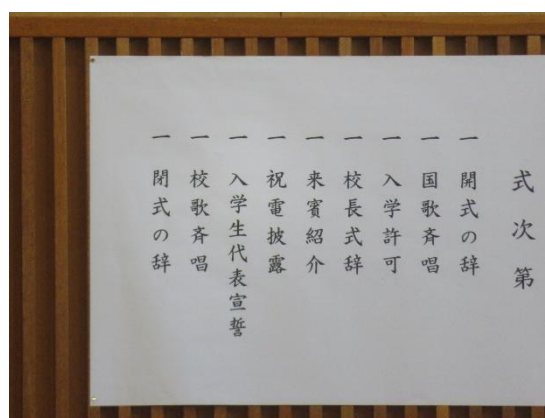
4月4日（金）に、80回生の合格者招集を行いました。まず、新入生は昇降口で自分のクラスを確認し制服や体操服を受け取り、手続き等を済ませた後、体育館に集合しました。体育館では新クラスごとに整列し、年次主任の話を聞きました。

80回生の入学を心待ちにしております。

80回生 入学式 4月8日（火）

本日、満開の桜が咲き誇る中、晴れやかな晴天のもと、第80回入学式が盛大に執り行われました。吹奏楽部の演奏が式を華やかに彩り、新入生たちの新たな門出を祝いました。織邊校長は入学式の式辞の中で、入学生に向けて3つの大切な話をされました。1つ目は「向上心を持ち続けること」、2つ目は「当たり前のことが当たり前にできること」、3つ目は「感謝する心、謙虚な姿勢を磨いていくこと」ができる人になって欲しいという話でした。

今日の決意を忘れることなく、明南の一員としてがんばってほしいです。



始業式、着任式 4月8日（火）

始業式が行われ、新年度がスタートしました。生徒たちがそれぞれの役割を果たし、充実した学校生活を送ることを楽しみにしています。

織邊校長は始業式の式辞の中で、生徒に明石南高校のスローガンである「『夢実現』在りたい未来・なりたい自分」について話をしました。自らの限界を決めず、自己分析をすることでなりたい自分に近づくことができる。この1年間、素直な心、謙虚な心、感謝の心、諦めない心、自分自身をコントロールする心を持って日々の生活を送ってほしい。というメッセージを生徒に伝えました。また、表彰伝達があり、ウェイトリフティング部が表彰されました。3年次には、全国大会で優勝した生徒もいます。



新たに15名の教職員が着任し、本校の一員として迎えられました。明南がより良い学校になっていくよう、教職員が一丸となって取り組んでいきます。



4月11日 1年次「部活動紹介」



1年次に部活動の紹介が行われました。体育館でそれぞれの部活動の紹介動画と各部員からの説明を聞きました。1年次の皆さんには自分に合った部活動に入部して楽しい高校生活を送ってほしいです。

2年次「総合的な探究の時間のオリエンテーション」



2年次のオリエンテーションで、「総合的な探究の時間」について総合学科推進部総合担当の岡本先生が1年間の学習の流れを説明しました。3年次の課題研究につながっていく土台となる部分なので、生徒のみなさんにはしっかり頑張ってもらいたいです。

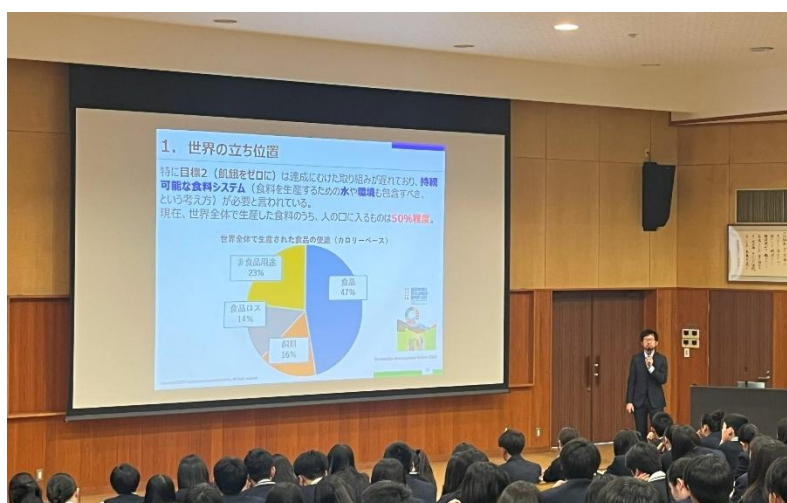
4月14日（月） 1年次 交通安全講習会



1年次は、5限から7限まで交通安全講習会を行いました。講師の方にJAF兵庫支部事業課から来ていただき、講義棟で交通ルールについての講義を受けました。その後、体育館の前を公道に見立て、明石警察の警察官の方に一時停止などの自転車の走行に関するルールについて指導いただきました。本校は約8割の生徒が自転車通学のため、交通事故を未然に防ぐためにも、一人ひとりが交通ルールを遵守しなければなりません。

4月18日（金）総合的な探究の時間

2年次総合的な探究の時間において、生活協同組合コープこうべ 田畑 翔一朗様に、「SDGs とコープこうべの食品ロス削減の取り組み」についてご講演をいただきました。



世界的にSDGs（持続可能な開発目標）の達成は、非常に厳しいといわれています。

食品ロスの削減に向けた、コープこうべの取り組みの数々を知り、個人でもできることや企業の社会的責任として実施すべきことを学び、社会的課題の解決に向けた意識を持つことができました。これからの探究活動において、課題を発見し解決案を考えていくための大きなヒントになりました。

4月21日（月）生徒総会



本日の7限は全校生徒が体育館に集まり、生徒総会を行いました。生徒会長をはじめとし、生徒会役員が中心となって、明石南高校の今年度の方向性について話し合いました。

「産業社会と人間」セルフディスカバリー授業風景



1年次の月曜6限は「産業社会と人間」の授業です。各担当教室に生徒がそれぞれ20人ずつに分かれて「セルフディスカバリー」の授業を実施しました。自己分析を行い、自身をより深く知ることによって、進路選択につなげていきます。

4月24日（木）校外学習

1年次ペーロン体験・バーベキュー



1年次は相生にて、ペーロン体験を行いました。木製の和船を協力して漕いで競争し、クラスの仲間との絆を深めました。その後、同市の羅漢の里に移動し、班に分かれてバーベキューを行いました。生徒たちは相生の美しい自然の中でいきいきと楽しんでいました。

2 年次 大阪班別行動・吉本新喜劇の鑑賞



2 年次は大阪で班別行動を行いました。うめきた広場に集合した後、午前中は各班が計画を立てて行動し、午後は難波に移動して吉本新喜劇を鑑賞しました。

3年次 ユニバーサルスタジオジャパン



3年次は、ユニバーサルスタジオジャパンで班別行動を行いました。高校生として最後の校外学習です。生徒たちはクラスの友達とユニバに行けるのをとても楽しみにしていました。行事も部活も勉強も精一杯がんばってほしいです。

4月25日（金）理数探究・総合的な探究の授業

理数探究



本日の理数探究は数学、物理、化学、生物の各専門分野に分かれてゼミが行われました。理数系の科目に特化したゼミでより生徒たちの探究心を深める授業が行われています。

総合的な探究の学習



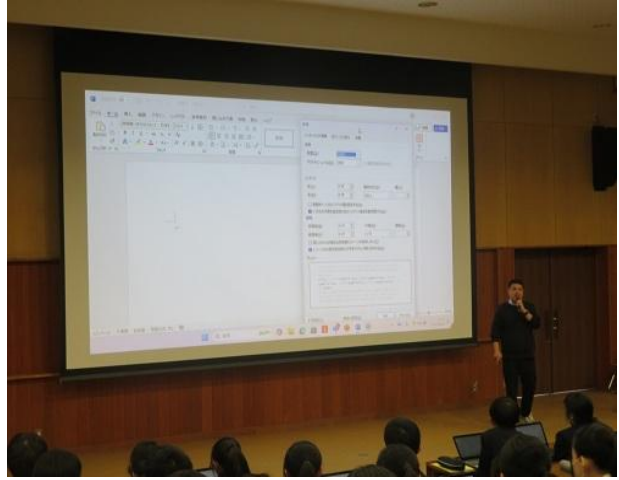
本時の総合的な探究の学習は、生徒一人ひとりが自分の興味関心のある分野について考え、3年次の課題研究にむけて、自分の研究テーマを設定しました。各担当教室に分かれて授業を行いました。生徒20人に対して、担当教員が1人なので、生徒一人ひとりに対してきめ細かい指導ができることが本校の指導における強みです。

4月28日（月）産業社会と人間「セルフディスカバリー」発表準備



今日の1年次の6限はセルフディスカバリー発表準備でした。前回の授業で深めた自己分析を発表するために原稿をまとめました。次の時間は発表です。原稿を見ずに、暗記して堂々と発表するために準備をしています。本校では、自ら発信する力を磨くために一年次から基礎力を身につけています。

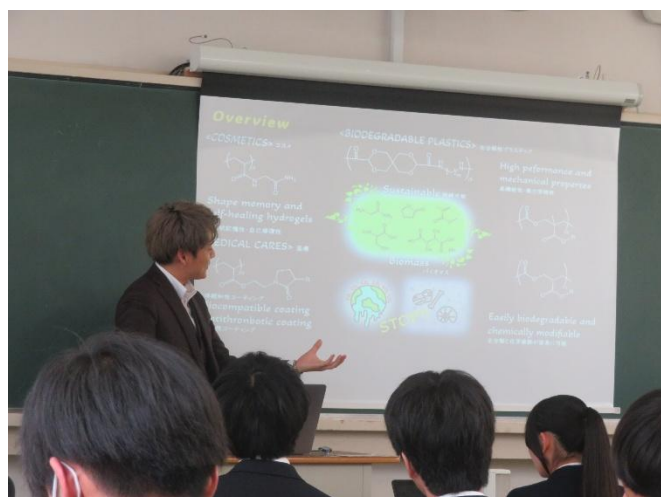
5月8日（木）産業社会と人間「office 講座」



本日の1年次4限「産業社会と人間」の授業では、タブレットを用いて Microsoft Office 365 の基本的な操作練習を行いました。今後の授業や課題研究、発表などで活用する Word や PowerPoint の使い方を身につけることを目的としています。生徒たちには、これらのツールをしっかりと使いこなせるよう、引き続き意欲的に取り組んでほしいと考えています。

5月9日（金）理数探究・総合的な探究の時間

理数探究の特別講義を実施しました。



本日の理数探究の時間には、同志社大学理工学部より西村慎之介先生をお招きし、探究活動の進め方についてご講義いただきました。講義では、具体的な研究テーマを例にあげて、研究とは何か、どのように問いを立てて深めていくのかについて、分かりやすくご説明いただきました。

特に、「勉強と研究は異なり、研究とは誰も知らない未知の問いを解き明かすことである。」

「チャレンジした人だけが失敗することができる。」といった先生の前向きな言葉が、生徒たちの心に深く響いていました。生徒たちのこれからの成長と挑戦に期待しています。

総合的な探究の学習



「総合的な探究の時間」では、SDGs に関する課題をテーマに、生徒一人ひとりが研究テーマとリサーチクエスションの設定に取り組みました。その後、少人数のグループに分かれて、自身のリサーチクエスションを発表し、互いに意見やアドバイスを交わしました。

発表を通じてさまざまな視点に触れ、「新たな発見があった」「別の切り口に気づいた」といった声も聞かれ、活発な意見交換の場となりました。

次回は、今回得た意見や気づきをもとに、各自でリサーチクエスションのブラッシュアップを行い、研究対象や今後の進め方についてさらに具体的に検討していく予定です。

5月12日（月）産業社会と人間「職業学習オリエンテーション」



5



本日1年次6限「産業社会と人間」の授業では、職業学習オリエンテーションを行いました。

働く意義とは何かという問いかけに、生徒から「お金を得るため」「いきがいを見つけるため」という意見が出ました。その後、経済的意義・社会的意義・個人的意義の3つの意義について学び、10年後の将来の職業について意見交換をしました。

生徒たちは、これからの職業学習を通じて、自分の興味や適性を知り、将来の進路や職業についてしっかりと考えていきます。

5月13日(火) 3年選択 マーケティング



創業50年の地域密着型パン屋をモデルに、競合店の進出や高齢化による売上低下といった経営課題を設定。マーケティングの4P(製品・価格・流通・プロモーション)の視点から課題を分析し、新商品の開発や広報戦略の立案に取り組む形で授業を展開しました。

各班は、ターゲット設定や販売促進手法、商品設計の根拠などを整理し、スライドを用いてプレゼンテーションを実施。「高齢者にも食べやすいパンの開発」「SNSによる情報発信」「地域と連携した販促イベント」など、実社会を見据えた提案が多く見られました。

仮想事例を通じて現実のマーケティング課題に触れることで、知識の定着に加え、論理的思考力や課題解決力の向上にもつながる内容となっています。

情報Ⅰの授業で「IT パスポート」に全員で挑戦！



本校では、情報社会に必要な知識と技術を身につけることを目的に、80 回生の 1 年生全員を対象とした「情報Ⅰ」の授業において、国家試験「IT パスポート」の学習に取り組んでいます。

IT パスポートは、経済産業省が所管する情報処理技術者試験の一つで、IT に加えて経営・マネジメントなど幅広い知識が問われる国家資格です。

この試験は、文部科学省と経済産業省が連携してデジタル人材の育成を推進する取り組みの一環として位置づけられており、今後の進学や社会で活躍するために必要な力を養うものです。

本校ではその意義をふまえ、1 年生全員が IT パスポート試験を受験します。

生徒たちは授業を通して体系的に知識を習得し、情報活用能力と論理的思考力を育みながら、国家資格の取得に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

情報Ⅰの授業で「IT パスポート」に全員で挑戦！



本校では、情報社会に必要な知識と技術を身につけることを目的に、80 回生の 1 年生全員を対象とした「情報Ⅰ」の授業において、国家試験「IT パスポート」の学習に取り組んでいます。

IT パスポートは、経済産業省が所管する情報処理技術者試験の一つで、IT に加えて経営・マネジメントなど幅広い知識が問われる国家資格です。

この試験は、文部科学省と経済産業省が連携してデジタル人材の育成を推進する取り組みの一環として位置づけられており、今後の進学や社会で活躍するために必要な力を養うものです。

本校ではその意義をふまえ、1 年生全員が IT パスポート試験を受験します。

生徒たちは授業を通して体系的に知識を習得し、情報活用能力と論理的思考力を育みながら、国家資格の取得に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

5月15日（木）産業社会と人間「職業学習②適性診断」



本日1年次「産業社会と人間」の授業では、職業学習を行いました。

「どのようにして自分に合った仕事を見つけるのか」

職業についての理解を深め、自分に合った進路を考えるために、厚生労働省が提供する職業情報提供サイト「job tag（ジョブ・タグ）」を活用し、自己診断を行いました。今後、この結果を進路選択や職業探究活動の大切な手がかりとしていく予定です。

5月16日（金） 理数探究・総合的な探究の時間

理数探究



理数探究では、数学・化学・生物・物理の各専門分野に分かれて、生徒たちが探究活動を行いました。化学研究室では、「温泉水におけるケイ素の濃度」を測定するための準備が進められ、熱心に取り組んでいました。生物研究室では、「酵素（カタラーゼ）の反応」や「タマネギの根の細胞分裂の観察」など、それぞれのテーマに基づいた実験を実施しました。どのグループも意欲的に活動し、仲間と協力しながら科学的な視点を深めていました。

本校では、生徒一人ひとりの興味や関心に応じた探究活動ができる環境を整えており、生き生きと学ぶ姿が日々見られます。

総合的な探究の時間



本日は、SDGsに関する課題をテーマに、リサーチクエストの見直しを行いました。前回はふまえ、社会的な意義や学術的な視点とのつながりを意識しながら、学習活動の内容を再構築しました。あわせて、各自が設定したテーマに関連する先行研究や事例の調査を進め、探究の土台づくりを行いました。

次回からはグループで、探究のテーマを一つに決定し、課題の解決方法や新たな提案について考えていく予定です。

5月23日（金） 生徒会立会演説会



本日、1学期中間考査が終了しました。考査終了後には、生徒会立会演説会が行われ、全校生徒の投票及び即日開票により新しい生徒会役員が決定しました。今回の選挙では、生徒会長に2名、副会長に1名、書記長に2名が立候補し、それぞれ学校への熱い思いあふれる演説を行いました。立候補者たちは、「意見箱の活性化」や「体育祭プログラムのデジタル化」といった具体的な公約を掲げ、「一人ひとりの生徒の声を大切にし、それを形にできる生徒会」を目指すことを力強く演説していました。

今後は明南祭をはじめ、さまざまな学校行事が本格的にスタートします。生徒と教職員が力を合わせ、より良い学校づくりを進めてまいります。

5月26日（月）「文章表現」特別非常勤講座



3年生の選択科目「文章表現」の授業で、外部講師をお招きし、「インタビュー」をテーマとした特別授業を実施しました。5W1Hを意識した質問の仕方や事前準備の重要性について、講師の中野広夢さんの体験談を交えながらお話しいただき、インタビューの基礎を学びました。後半は二人一組で互いにインタビューを行い、「傾聴」や「共感」の姿勢を大切にしながら、限られた時間で深い内容を引き出す工夫や、関連エピソードに着目するという実践的なテクニックを体感しました。相手に関心を持って話を聞くインタビューの基本姿勢の大切さを改めて実感する時間となりました。今後の授業では、今回得た内容をもとに記事としてどのようにまとめ、表現するかを学んでいきます。

5月27日（火） 3年次「課題研究」

課題研究の特別講義を実施しました。



本日の課題研究の時間には、甲南大学フロンティアサイエンス学部より教授の甲元一也先生をお招きし、プレゼンテーションの方法についてご講義いただきました。

講義では、「相手が聞きたいと思う内容を話すことがプレゼンテーションである。」「いいストーリー、いい話術、いいスライドの3つが必要である。」と話され、いいものを作るためのコツを具体的に、分かりやすく説明していただきました。そして、魅力的なプレゼンを行うためには、経験を積むこと、人の発表を聞き、話術やスライド作成術を学ぶこと、どん欲にスキルを磨く向上心を持つことが必要であると教えていただきました。

3年次は、この講演を生かして、これまでの探究活動の成果を相手にしっかりと伝えられるように、プレゼンテーション力を高めていってほしいと思います。

5月29日（木）産業社会と人間「職業新聞オリエンテーション」



本日の「産業社会と人間」の授業では、職業新聞に向けてオリエンテーションを行いました。生徒たちはこれから職業人インタビューを行い、それをもとに職業新聞を作成します。この授業で、インタビューを充実させるためには事前の準備が重要であることを学び、どのように質問をすればよいかを具体的に考えました。

また、職業人インタビューの成果をまとめる「職業新聞」の完成例を見ながら、実際のレイアウトや構成についても検討をしました。この活動を通して将来の夢の実現に近づけてほしいと思います。

2025 年 6 月 5 日 (木)

寒川 稔也さんを招いて、1年生向け文理選択説明会を行いました

6/5(木)4限 1年生 産業と社会の授業で講演会がありました。一般社団法人コミセモ・ジャパンの寒川稔也様を講師としてお迎えし、文理選択説明会を実施しました。寒川様は、京都国際高校にて教員・進路指導部長・教頭を歴任され、現在も全国各地で講演を行うなど、教育分野で幅広くご活躍されています。元アナウンサー志望というご経歴もあり、明瞭で心地よい声と話し方で、生徒たちは自然と講演に引き込まれていました。

講演では「文系・理系とは何か」という基本的な問いから始まり、学部・学科の紹介や受験教科の違い、実際に文系・理系を見分けるクイズなど、多角的な視点から文理選択のポイントを解説していただきました。特に、法学部や工学部など具体的な学部名を挙げながら説明されたことで、生徒たちも自分の将来と結びつけて考えることができたようです。

また、講演の内容はワークシートに沿って進められ、要点を自分の手で書き込みながら聞くことで、生徒たちはより深く理解を深めることができました。

寒川様、貴重なお話をありがとうございました。



6月12日（木）近畿大会出場 壮行会

ウェイトリフティング部・男子バスケットボール部 近畿大会へ！



本日、ウェイトリフティング部および男子バスケットボール部の近畿大会出場に向けた壮行会が行われました。

ウェイトリフティング部は、県総体において男女ともに団体優勝という快挙を成し遂げ、勢いそのままに近畿大会ではアベック優勝を目指します。日々の鍛錬の成果を存分に発揮し、全国への切符をつかんでほしいと、全校生徒、全職員が期待を寄せています。

男子バスケットボール部は県総体で5位に入賞し、見事近畿大会への出場を決めました。上位4校はいずれも私立高校という中で、県立高校として最高順位を収めたことは、大きな誇りです。近畿大会では、来たる6月20日に神戸グリーンアリーナにて大阪代表の近畿大学附属高校と対戦予定です。「近畿ベスト16」を目標に、一戦一戦に全力で挑みます。

壮行会では、新生徒会長より「明南一同が応援しています。自信を持って、全力でベストを尽くしてください」と力強い激励の言葉が送られ、出場部員たちの表情にも気合がみなぎっていました。両部の健闘を、学校をあげて応援しています。

6月12日（木） 第78回明南祭1日目

明南祭1日目は、全体鑑賞会でした。体育館で開幕式が行われた後、吹奏楽部、ダンス部、演劇部、放送部、書道部が発表を行いました。

吹奏楽部

迫力ある演奏で会場を一気に盛り上げ、音楽の力を感じさせてくれました。一人ひとりの音が重なり合い、心に響く素晴らしい演奏でした。



ダンス部

リズムに乗ったキレのある動きが魅力的で、観客の目を引きました。一体感のあるダンスで、見ている人を楽しませてくれました。



演劇部

台本を生徒自身が創作しており、作品全体に熱意と個性が感じられました。登場人物の感情や物語の流れも丁寧に表現され、引き込まれました。



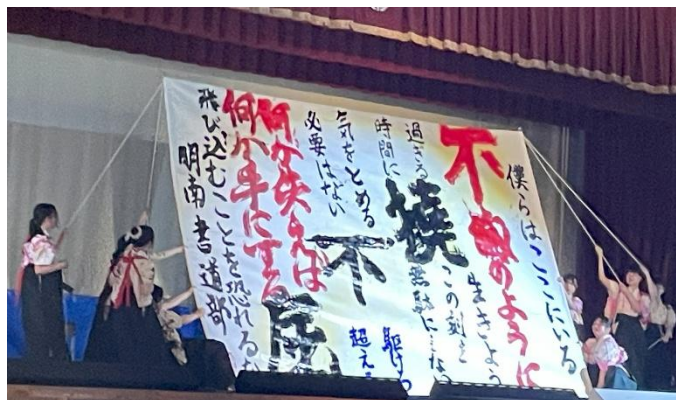
放送部

先生と生徒が演技で対決する「“はあ”っていうゲーム」が特に盛り上がりました。紹介動画は編集や字幕にも工夫があり、活動の楽しさがよく伝わりました。



書道部

複数人が協力して力強く筆を運ぶ姿から、集中と一体感が伝わってきました。プロジェクターで書いている様子を映す工夫により、迫力ある書がしっかりと届きました。



6月13日（金） 文化祭2日目



本日は文化祭二日目が快晴のもと、無事に開催されました。心配していた天気も味方し、生徒たちは待ちに待った文化祭を存分に楽しみました。

1年次は食品を除く模擬店、2年次はステージ発表、3年次は食品を扱う模擬店をそれぞれ担当し、各クラスが趣向を凝らした企画を展開しました。生徒たちは仲間と協力し、準備や運営に全力で取り組み、一人ひとりが達成感を味わえる充実した一日となりました。

また、各学年の最優秀クラスは、1年次が2組、2年次が6組、3年次が1組と3組に決定しました。今後も生徒たちの活躍にご期待ください。

6月16日（月） 生徒会役員認証式



生徒会役員認証式が行われました。

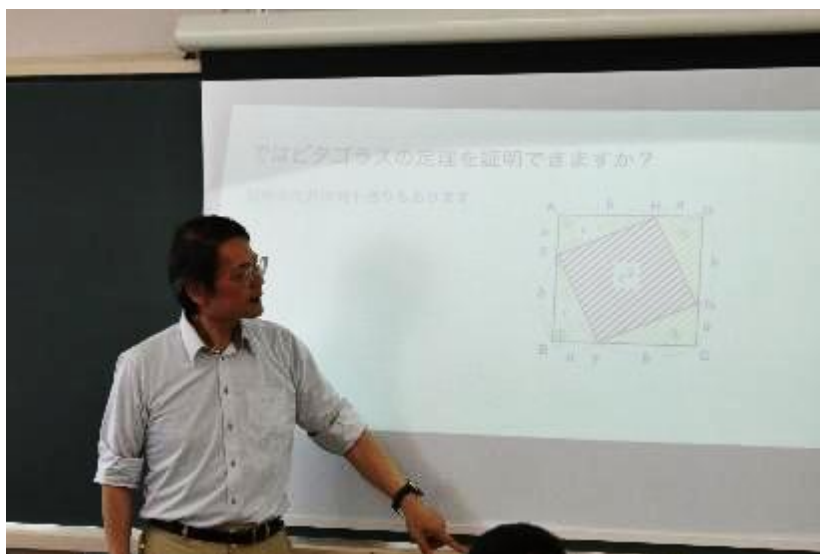
旧生徒会から新生徒会へと活動のバトンが渡され、これまでの取り組みの成果が振り返られました。

旧生徒会長の福田さんからは、「制服・私服の自由選択期間」の導入について報告があり、生徒の多様な価値観を尊重する取り組みとして、大きな成果を残したことが語られました。

続いて、新たに認証された生徒会役員を代表して、新生徒会長の岡田さんが、「生徒の声を聴く生徒会」を目指し、日々の活動に真摯に取り組んでいく決意を力強く表明しました。

校長先生から、「各学年の活動は常に見られており、先輩たちの良いところはしっかりと受け継ぎ、改善すべき点は変えていくことが大切です。その積み重ねが、生徒全員の成長につながります。」とのお話がありました。新しい生徒会の今後の活躍に期待が高まります。

7月11日（金）理数探究「数学ゼミ」の特別授業を実施しました。



本日の理数探究「数学ゼミ」では、神戸親和大学 教育学部長 松本宗久先生をお招きし、これからの数学ゼミの探究活動の進め方についてご教示いただきました。

探究とは自分の興味を深めることであり、仮定を立てて結論を導く際には、ゴールを意識して進めることが大切だと話されました。WEB や AI には情報があふれていますが、それが正しいかどうかを最終的に判断し、説明するのは人間です。そのためには、自分でしっかり理解し、判断力を身につける必要があります。さらに、自分の探究を高校だけで終わらせるのではなく、大学へとつなげ、その分野について探究をより深められる進路選択であってほしいとも語られました。

また、先生が明石南高校で高校生活を過ごされたときの楽しいエピソードに、生徒たちも親しみを感じ熱心に聞いていました。

7月11日（金） 総合的な探究の時間



本日の「総合的な探究の時間」では、5月から取り組んできたSDGsに関する課題解決に向けた提案やアイデアについて、各クラスでの発表を行いました。発表は班ごとに「みらい甲子園」形式のスライドを使用し、多様な社会課題に対する独自の視点と考察を共有しました。

生徒たちは、貧困、環境問題、ジェンダー、教育格差など、身近なテーマに対して自分たちにできる具体的な行動や取り組みを提案し、それが社会に与える影響についても深く考えました。今回の探究活動を通じて、「課題を自分ごととして捉える大切さ」や「小さな一歩が社会を動かす力になりうること」に気づき、自分が社会の一員であることを実感する貴重な機会となりました。

なお、各クラスでの発表の中から選ばれた代表班は、年次全体での発表会に出場します。年次発表会は7月16日に実施され、神戸松蔭大学の待田教授をお招きし、ご講評をいただく予定です。

7月16日(水) 2年次「総合的な探究の時間」年次発表会



2年次の総合的な探究の時間の、「年次発表会」を本校講義棟で実施しました。各クラスから選ばれた代表班2組ずつ、合計12班が登壇し、これまで取り組んできたSDGsに関する探究テーマについて、年次全体の前で発表を行いました。

各班は、世界や日本で起きている課題に対し、「自分たちにできることは何か」を真剣に考え、それぞれの視点から課題解決のための提案や考察を発表しました。どの発表にも、日頃の調べ学習やディスカッションの成果がよく表れており、聴く側の生徒たちも熱心に耳を傾けていました。

また、今回は神戸松蔭大学の待田昌二教授をお招きし、発表全体について講評をいただきました。待田先生からは、「Think Globally, Act Locally (地球規模で考え、足元から行動してみよう)」という言葉いただきました。世界で起きている問題を大きな視点で捉えながらも、高校生として、今自分たちにできる行動を考えていくことの大切さを教えていただきました。

本校では、これからも探究活動を通じて、課題を発見し、主体的に学び、発信する力を育てていきます。

7月17日（木） 防災訓練



防災訓練を実施しました。

雨天のため、予定していた屋外での避難訓練は行わず、「雨バージョン」での訓練となりました。訓練後には、地元消防署の方に防災に関する講話をしていただきました。講話では、災害時の行動や備えの大切さ、近年の災害事例などについて詳しくお話いただき、生徒たちも真剣な表情で耳を傾けていました。生徒たちにとって、自分自身や周囲の命を守る行動について考える貴重な機会となりました。今後も、防災への意識を高める取り組みを継続してまいります。

7 月 18 日（金） 終業式



本日、1 学期終業式がリモートで行われました。校長先生の式辞では、今年度の生活を振り返るとともに、「キャリアドリフト」という考え方についてお話がありました。「キャリアドリフト」とは、変化を受け入れ、自分の進路や将来の流れに身を任せながらキャリアを形成していくという意味です。私たちの生活は予期せぬ出来事や環境の変化に満ちています。そんな中で「うまくいかない」「思うように進まない」と感じることも多いはずですが、しかし、そんな時こそ「見方」や「受け入れ方」を変えてみるのが大切だと校長先生は話されました。

困難や失敗も、自分の成長の一部として捉え直すことで、新しい道や可能性が見えてくるかもしれません。これから夏休みを迎え、勉強や部活動、そして将来についてじっくり考える時間が増えます。変化を恐れずに受け入れ、自分のキャリアを柔軟に築いていく姿勢を大切にしたいですね。皆さんの 2 学期のさらなる成長を楽しみにしています。

A L T 離任式



1 学期終業式後、本校で約 4 年間勤務された ALT のダニエル先生の離任式が行われました。先生は、明石南高校や地域での経験に深く感謝され、多くの教職員の名前を一人ひとり挙げて感謝の言葉を述べられました。特に「コーチングは教育であり、人を育てる行為である」という信念のもと、カナダでの経験と教育への思いを語ってくださいました。また、文化の違いよりも「人はどこでも似ている」という視点から、国際理解の大切さも伝えてくださいました。最後には「自分がしてもらいたいことを、他人にもしてあげなさい」という言葉で締めくくられました。温かく誠実なスピーチに、多くの生徒や教職員が心を打たれました。先生の功績と感謝の気持ちは、私たちの心に深く刻まれています。

表彰伝達、全国・近畿大会壮行会



写真部、陸上部、ダンス部、ウエイトリフティング部、男子バスケットボール部、国際ソロプチミスト明石クラブユース・フォーラム参加の生徒が表彰されました。また、壮行会ではウエイトリフティング部、水泳部の生徒が全国大会・近畿大会出場選手として紹介されました。日頃の努力の成果を発揮し、大会での活躍を期待しています。